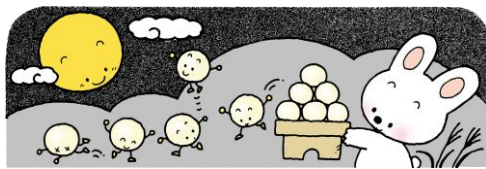
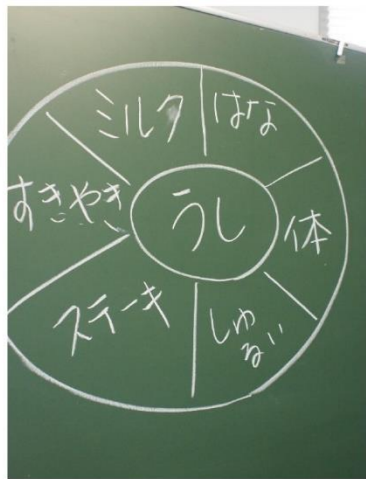


図書館ひろば



「調べ学習講座」が開かれました



調べ学習講座 報告

【7月15日（土）市立図書館

～新聞をつくろう～】

小学1年生から6年生まで13名参加

今年はあらかじめ調べることを決めていた子どもたちが多く、必要な本をすばやく探し当てていました。テーマは「トマト」「カブトムシ・クワガタ」「人のからだ」など。

調べたことをどんどん書き出し、それを新聞の形にまとめました。コピーした図や写真を利用し、色ペンを使って目立つような工夫をしました。低学年の子どもたちの作品は、ダイナミックな構図やイラストが目を引きまします。高学年の子どもたちは、書き出す項目をじっくり読み込み、紙面に上手にまとめていました。

昨年に引き続き申し込んでくださったかたが3名もいらして、お子さんの成長した姿を見られる幸せもありました。



【7月30日（日）相武台分館

～図書館で好きなことを調べてみよう～】

小学2年生から中学2年生まで9名参加

講師から調べ方のレクチャーを受けた後、テーマを決め、書架に本を探しに行きます。「調べたいことが載っていない」と困っている子どもにはサポーターや分館のスタッフが探すお手伝いします。実際に本を見て、テーマを変更する子どももいました。テーマは「雪」「イルカ」「マカロン」など。分館は会場の集会室と書架が近いので、もっと詳しく調べたいと思った時は、すぐに違う本を取りに行けます。

調べたことをどんどん書き出し、それを本の形の冊子にまとめていきました。小さな絵本のようにまとめ、読み聞かせをしてくれた作品は、参加者全員で楽しみました。最後には「冬休みにもこの講座やらないの？」という嬉しい声も聞けました。



【8月6日（日）橋本図書館

～ネットと本で調べ学習講座～】

小学3年生から6年生まで、12名参加

今回子どもたちが調べたテーマは、「ハムスター」「オーロラ」「火」「犬」「ピーターラビット」「花火」「バスケット」など。7月15日相模原市立図書館で開催した「新聞づくり」の続きに取り組む子どももいました。

本を読みながら、必要な事ごとに付箋を貼っていきます。新しいデータが欲しい時には、ネットも利用します。子どもたちがよく使う「Wikipedia」については、信頼性の問題を講師やサポーターが説明しました。

後半は調べたことを小さなカードにどんどん書き出します。調べているうちに「さらに調べたい」と思った子どもたちは、残念ながら時間内に終わりませんでした。「続きは家でやって、ぜひ図書館に持ってきて見せてね！」と約束しました。



各館のようすは、つなぐ会のホームページにアップされています。ご覧ください。

千代田区立日比谷図書文化館・武蔵野プレイス見学 報告

市立図書館を4年後を目標に建て替えるという話が、4月の総会の時に示されました。「つなぐ会」としてどんな図書館をつくってほしいかを考えるために、いくつかの図書館を見学していきます。第1弾は日比谷図書文化館、武蔵野プレイスを訪れました。

7月21日、強い日差しの中、日比谷公園のせみ時雨を聞きながら図書館見学会が始まりました。

<千代田区立日比谷図書文化館>

日比谷公園の豊かな緑の中に、三角形のユニークな佇まい。そこは、本を読み、調べる図書館と、歴史や多彩な文化情報を展示するミュージアム、さまざまな講座やイベントを行うカレッジが一体となった複合文化施設。この施設は地上4階、地下1階の建物で、1階は受付・自動貸出機・ブックポスト・返却ボックス・常設、特別展示室などがあります。2階・3階が図書フロア、約19万冊の蔵書を色分けした4つのゾーンに分類して配架、閲覧席も約300席あり、全席で無線LANが利用できます。また、全席で蓋付きの飲み物（ペットボトル蓋付きカップ等）が持ち込み可能です。書架は低く本が探しやすく感じました。4階は文化財事務室・セミナールーム・小ホール・特別

研究室などがあります。地下1階は大ホールとレストランがあります。こんな施設が近くに有ったら良いだろうと、羨ましく思いました。

<武蔵野プレイス>

JR中央線の武蔵境駅前にある、地上4階、地下3階の建物で、2011年にオープン。図書館をはじめとして、生涯学習支援・市民活動支援・青少年学習支援の4つの機能を併せもった施設です。約17万冊の図書と600タイトルの雑誌を用途に応じて分類配架しています。1階はパークラウンジで、エントランスフロア。2階はコミュニケーションライブラリーで、児童生活関連図書フロア。3階はワークラウンジで、市民活動フロア。4Fはワークテラスで、フォーラム・ワーキングデスクなどがある最上階です。地下1階はメインライブラリーで、一般図書フロアです。地下2階はティーンズスタジオで、芸術、美術、青少年向け図書フロア・青少年の居場所・創作活動の場です。地下3階は駐車場です。

武蔵野プレイスは子供達の声が元気に響き、大勢の人が居て活発に活動している感じがしました。

相模原にはどんな施設が必要なのか、みんなで考えていきましょう。（藤村）

第9回「図書館ひろば」開催のお知らせ

11月26日（日）10:30～15:30

相模原市立図書館

今年もやります！古本市

講談「徂徠豆腐」他 河津琴道

布絵本・布おもちゃ おはなし会

音訳・点訳・拡大写本

本の修繕実演 など

最新情報は「つなぐ会」HPで



淵野辺駅南口周辺 図書館など移転構想

市立図書館移転構想が新聞、タウンニュースなどに載りました。7月20日タウンニュースさがみはら中央区版の記事を紹介します。

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、市立図書館（中央図書館）をはじめ、まちづくりセンター、公民館を集約し、近接の鹿沼公園内に複合施設として設置する構想が市によってまとまったのを受け、このほど事業化の検討に向けて本格的に動き出した。都市計画課では、既に5月の大野北まちづくり会議などの公の場で初めて事業内容を説明。住民の多くが賛成の意向を示していることから、市は今年度中をめどに検討事案となるよう案を取りまとめる考えだ。

（一部抜粋）

<http://www.townnews.co.jp/0301/2017/07/20/390803.html>

事業(案)の内容(施設の集約・複合化による再整備の方向性)



第57回社会教育研究全国集会参加 報告

8月27日、相模女子大学で開催された、社会教育研究全国集会の2日目、第13分科会「地域と学校」に参加し、つなぐ会が夏に取り組んでいる「調べ学習講座」の報告をしてきました。この社会教育研究全国集会は1961年に始まり、全国各地を会場にして社会教育実践が出来る場として開催されています。詳しくはつなぐ会メンバーの渡邊さんに、次号の機関紙で紹介していただく予定です。

第13分科会「地域と学校」では、最初に学校をめぐる政策動向、特に「学校運営協議会」について、首都大学の社会教育学部の院生が説明しました。次に、経済的困難をかかえる子どもを対象とした「学習支援活動」と、つなぐ会の「調べ学習講座」、2本の実践報告。さらに3名の障害当事者が学校で人権・福祉教育をどのように行っているか、鼎談形式で語られました。

分科会で聞いた「学習支援活動の実践報告」は、代表者と一緒に話した、大学生2名の活動への思いが印象的でした。子どもたちの居場所づくりの大切さ、大学生たちが作り上げる、子どもの未来を見据えた支援活動。小中学生に年の近い彼らが、こういった取り組みをすることは、とても貴重だと感じました。

私からは、市内3つの図書館での子どもたちの頑張りを、主に写真を中心に紹介しました。楽しそうなのですが参加者みなさんに伝わったと思います。つなぐ会の活動を知ってもらえるこのような機会をいただいて、感謝しています。(中塚)

編集後記

9月になって、すっかり秋めいてきました。調べ学習講座では、子どもたちに元気をもらい、社全協の参加者との交流では、知らない世界を見せてもらいました。刺激的な夏でした。(Y.N.)

図書館ひろば 第17号 2017年9月15日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email info@toshokan.org ホームページ <http://toshokan.org/>